

Glocal Tenri



月刊 グローカル天理 Monthly Bulletin Vol.16 No.9 September 2015

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

9

CONTENTS

- ・ 巻頭言
「ゆう活」から考える
／深谷忠一..... 1
- ・ 天理教教理史断章 (96)
近愛文書⑦
／安井幹夫..... 2
- ・ 『教祖伝』探究 (15)
面はちばかぎり
／深谷忠一..... 3
- ・ 「おふでさき」天理言語教学試論～「こと」
的世界観への未来像～ (17)
第2章 本居宣長『古事記伝』⑤
／井上昭夫..... 4
- ・ 「元初まりの話」に登場する動物たち (6)
「み」について①
／佐藤孝則..... 5
- ・ 「おふでさき」の標石的用法 (1)
表記法について
／深谷耕治..... 6
- ・ 「おさしづ」語句の探求 (9)
『おさしづ』第1巻割書における「道」
／澤井治郎..... 7
- ・ 天理参考館から (2)
大学ミュージアムとしての参考館
／幡鎌真理..... 8
- ・ 新宗教のブラジル伝道 (29)
日本の新宗教の組織的展開 ⑬
／山田政信..... 9
- ・ コンゴ社会から見るアフリカ・ヨーロッパ
関係試論 (4)
コンゴ王国のキリスト教化
／森 洋明..... 10
- ・ 地域福祉を拓く ―新たな寄付文化の創
造― (9)
「天理び～すぺ～すプロジェクト」の取り
組み ②
／渡辺一城..... 11
- ・ 現代宗教と女性 (5)
変成男子の謎
／金子珠理..... 12
- ・ English Summary..... 13
- ・ おやさと研究所ニュース..... 14
新連載執筆のねらい／国際シンポジウム「東ア
ジア仏教の形成と展開」に参加 (金子昭)／日
本スポーツとジェンダー学会第14回大会参加
(金子珠理)／ホームページのご案内／第284
回研究報告会「天理教の海外伝道―台湾を事例
に」(ヨブ・ロシン・黄約伯)／奈良県環境審
議会「第1回環境計画策定部会」に出席 (佐藤
孝則)／奈良テレビに出演 (八木三郎)／『グ
ローカル天理』合本のご案内／平成27年度公
開教学講座のご案内

巻頭言

「ゆう活」から考える

おやさと研究所長 深谷忠一 Chuichi Fukaya

今夏、内閣人事局の旗振りで、ゆうや 間の徳が進んで来ると、夫婦の中には子供
け時間活動推進運動「ゆう活」が、霞ヶ は男一人女一人だけ授けるで。半日は陽気
関の各省庁で実施されました。7月～8月 勤め、半日は陽気遊び」(山名初代会長夫
は、「*国家公務員の始業時間を1～2時 妻自伝)」という話があります。

間前倒しにする。*早朝に出勤した職員 これらの逸話や口伝から読み取れるこ
この勤務を午後4～5時に終わらせて、残 とは、先ず、「働くのは人のためになるこ
業をしないようにする。*特に毎週水曜 ことであり、それが自分を磨くことにもな
日は午後8時までの消灯を実現する。」と る」ということです。そして、「働くこと
いうもので、22万人の公務員が対象。7 は苦役ではなく、楽しみであって、誰に
月1日には安倍首相も公務を夕方早めに 対しても奨励されることだ」ということで
切り上げて、美術館を訪れたりしました。 す。もし、「労働=苦役」と受け止めるな
らば、苦役はなるべく少なく短い時間で終
わる方がよい。しかし、周りを幸福にする
ために働き、それを自らの喜びにできるな
らば、その量の多少や時間の長短は二の次
になるということでしょう。

民間企業にも広げていきたいと提案さ として、個人の立場で申せば、若い頃に
れたこの朝型勤務は、電力節減などの省 一生懸命「側楽」を実行していれば、やが
エネ・エコを目的として政府が一斉に時 て「半日働けば半日は陽気遊び」という時
間を進めるサマータイムではなく、日本 代がくる。子供・次の世代がその余裕を与
の長時間労働の慣行を変え、生活スタイル えてくれる。また、人間社会全体でいうと、
の変革をうながすために提唱されたも 世界が親神の心に叶う状況になると、人口
のだとされます。 は増減なく確保され、皆の労働時間も半日
でよくなる。半日は楽しみの時間、「ゆと
りある生活」を皆ができるようになるとい
うことであります。

さて、ここで、この「ゆう活」運動と、 さて、今夏の「ゆう活」運動は、日本社
天理教の労働観について考えてみたいと 会が、形の上では「半日は陽気勤め、半日
思います。先ず、お道の「働き」に関する は陽気遊び」の方向に歩み出したといえる
教祖のお言葉を『稿本天理教教祖伝逸話 かも知れません。しかし、ただ労働時間を
篇』に求めますと、65頁に、「せいで働 縮めて余暇の時間を増やすだけがよいの
いて置きなされや。先になったら、難儀 ではなく、その中身が問題です。そのため
しようと思たとて難儀出来んのやで。今、 には、我々お互いが、「陽気勤め」、「陽
しっかり働いて置きなされや。」とのお言 気遊び」とはいかなるものか? その本質
葉があります。また、同192頁には、「陰 をさらに掘り下げて考える。そして、その
でよく働き、人を褒めるは正直。聞いて 具体的な日々のあり方を世に示していく
行わないのは、その身が嘘になるで。も ことが大事だと思う次第です。

う少し、もう少しと、働いた上に働くのは、 さらに、また、教祖高弟の口伝には、「人
欲ではなく、真実の働きやで。」とのお言 さら、また、教祖高弟の口伝には、「人
葉。そして、同じく320頁には、本教の さら、また、教祖高弟の口伝には、「人
労働観を語る時に最もよく引用される「働 さら、また、教祖高弟の口伝には、「人
くというのは、はたはたの者を楽にする さら、また、教祖高弟の口伝には、「人
から、はたらく(側楽・ハタラク)と言 さら、また、教祖高弟の口伝には、「人
うのや。」とのお言葉があります。 さら、また、教祖高弟の口伝には、「人